

05 20年後の将来像

多様な「つながり」とみんなの「やりたい」が積み重なり、みんなで取り組むまちづくりが進んだ将来に、三宅町はどんなまちになっているでしょうか。20年後の将来像を「三宅ビジョン」としてまとめました。

三宅ビジョン miyakevision

昔から守られてきた歴史や田園風景が広がるおだやかで、きれいなまち。
安全なまちで子どもからお年寄りまで安心して暮らせる。

ここには次世代に受け継ぎたい地場産業も時代に応じた新しい仕事もあり、自分のライフスタイルに合わせた多様な働き方ができる。

コンパクトなまちで、子どもたちは多様な人と関わり、まちぐるみで育てられ、まちでのびのびと遊び・生き生きと学んで大きくなる。

まちの困りごとは、住民も行政も一緒に考え、それぞれの得意を活かしながら解決している。町外にもまちづくりと一緒に進めてくれる仲間がたくさんいる。自分のやりたいの実現を、まちぐるみで応援してくれる。たくさんのつながりが、まちを元気に魅力的にしていく。

ここに暮らすのが楽しい、このまちが好き、ここで暮らし活動する自分が好き。そんな魅力が伝わって、また新しい仲間がやってくる。ここはみんなが好きなまち、自分を好きになれるまち。

自分らしくハッピーに スモール(住もうる*)タウン三宅町



こんな20年後の三宅町に向けて、あなたの参加が大きな力になります。
一緒に三宅町の未来をつくっていきましょう!

*3 住もうる:「住む」と、できるを表す「得(う)」を掛け合わせた、住むことができる・住み続けることができるという造語。

みんなで作った 三宅ビジョン

一緒につくるこれからの三宅町

全国的に人口減少が進むなか、三宅町も例外ではありません。三宅町では人口減少をゆるやかにし、「住み続けたい」「住みたい」まちであるために、住民のみなさんとの対話や庁内横断的な議論を重ね「三宅ビジョン」と「第2期三宅町まち・ひと・しごと創生総合戦略」をつくりました。これらを三宅町のまちづくりの指針として住民のみなさんとも共有しながら、これからのまちづくりを進めていきたいと思っています。一緒に三宅の未来をつくりましょう。



01 加速する人口減少

今、三宅町では少子高齢化による人口減少が大きな課題です。
このまま何もしないと人口減少は加速して行きます。
三宅町では人口減少をゆるやかにし下げ止まりをつくる人口の安定化を目指し、人口目標を立てました。

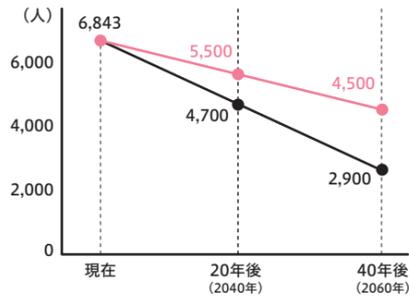
このまま何もしないと

- 20年後(2040年): 4,700人
- 40年後(2060年): 2,900人

40年後

小学生・中学生は
150人に
減少します!

現在の
半分以上!



みんなで まちづくりに取り組むと

- 20年後(2040年): 5,500人
- 40年後(2060年): 4,500人

40年後

小学生・中学生は
450人で今の
人数規模をキープ!



人口を安定化するためには
自治会ごとに毎年1世帯の移住定住
10代・20代の流出を**現状維持**
出生率を段階的に**2.07**まで**上昇**

人口目標を達成するためには、
みんなでまちづくりに取り組んでいくことが大切です。

02 住民と行政の話し合い

そこで、住民ミーティングや住民アンケート、子どもフィールドワークなどを通して、
三宅町の魅力や課題をはじめ、これからのまちづくりについて住民も行政もみんなで話し合いました。*1

課題

- 車がないと不便
生活に必要な施設がない
- 多世代の交流が不足している
- 子どもが遊べる場所がない
- 農業従事者・担い手が少ない
- 主体的にまちづくりに
参画している住民が少ない
- 移住後の仕事がイメージできない
- 町内の取り組み・活動を
知らない事が多い



魅力

- 徒歩20分圏内に駅が4つあり、
都市部へのアクセスがいい
- 顔見知りが多い・地域の結びつきがある
- コンパクトで一体となって
子育てに取り組める
- 田んぼや畑など田園風景がよい
- 住民と行政の接点が多い・距離が近い
- MiiMoでリモートワークができる
- ボランティアや得意なことを
教える先生が多い

*1 職員アンケート・住民ミーティング・職員プロジェクトチーム会議意見より

03 これから7年間の取り組み

重ねてきた住民との対話や職員での議論をもとに、
これからの7年間で重点的に取り組むべきまちづくりを「第2期三宅町まち・ひと・しごと創生総合戦略」としてまとめました。

大きな目標

みんなが好きなまち三宅町を
多様な「つながり」と、みんなの「やりたい」で育む

戦略

基本目標	施策(取組)
1 ひととまちも元気になる 仕組みづくり	(1) MiiMo(三宅町交流まちづくりセンター)を中心とした交流やまちづくりの活性化 (2) 子どもから大人までの世代を超えた学びの機会の充実 (3) まちを元気にする関係人口の拡大 (4) まちの仲間を増やす移住定住の充実
2 まちぐるみで子どもを育てる 仕組みづくり	(1) 三宅町ならではの子育て・教育方針の検討と推進 (2) ICT活用による子育て・学び環境の充実 (3) 安心して子育てできる子育て支援の充実
3 次世代につなぐ仕事の 仕組みづくり	(1) 公民連携による農商工のあり方検討と活性化 (2) 新しい働き方や仕事(起業・創業、既存企業)の支援 (3) 三宅町の特性を活かした企業誘致の推進
4 シビックプライド*2を 醸成する情報発信・共有の 仕組みづくり	(1) まちの魅力を伝える情報発信 (2) まちの「いま」を共有する機会づくり (3) 施策に応じた戦略的な情報発信

*2 シビックプライド: 日本でいう郷土愛という思いにとどまらず、その町の課題解決や、活性化といった具体的な行動に取り組む姿勢を含むもの。

04 あなたの参加が三宅の未来をつくれます

これから、多様な「つながり」と、みんなの「やりたい」を最大限に活かしながら、
この戦略を住民も行政も一緒になって、みんなで進めていきます。
そのために、みんなで対話し一緒に具体的な取組を考えたり、実行したりする機会を設けていきます。

▶ 対話の場にお越しください!

「タウンミーティング」や「まちづくりトーク」等を通して三宅
町のまちづくりの現状を共有し、みなさんと対話していき
ます。ぜひご参加ください。



▶ あなたの周りの魅力的な人募集!

「広報」では三宅町で活躍する人をご紹介します。あなたの周りの
素敵な活動をされている人、頑張っている人を教えてください。
ご連絡は裏面記載の政策推進課まで。



みんなで取り組んだ先は…?